1. はじめに

このたびは、ゲームソフト「緋王伝II'HD」をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございます。本書は、ハードディスクへのインストール方法や、「緋王伝IIフロッピーディスク版」（以下FD版）からの変更点について解説しています。ゲーム内容や基本的な操作説明に関しては、別途のFD版マニュアルを参照して下さい。
本製品は、以下の内容で構成されています。御確認下さい。

■製品構成

- インストールディスク1……………………………1枚
- インストールディスク2……………………………1枚
- インストールディスク3……………………………1枚
- 起動ディスク……………………………………1枚
- 緋王伝II'HDプレイングマニュアル　………1冊
- 緋王伝IIFD版プレイングマニュアル………1冊
- アンケートハガキ…………………………………1枚

2. インストール方法

本製品は、ハードディスク専用です。ゲームをプレイする前に、インストールディスクの内容をハードディスクに転送する作業が必要となります。これをインストールと呼びます。

インストールを行うには、多少のMS-DOSの知識が必要です。本書の説明もユーザーの方にMS-DOSについての知識があるものという前提で書かれています。以下の説明についてわからない点がある場合はMS-DOSのマニュアルを読むか、自分で作業を行わずに詳しい友人に相談することをお勧めします。

本製品をプレイするにはハードディスクの空き容量が最低7M程度必要です。

①ハードディスクを立ち上げて下さい

②フロッピードライブ1に「インストールディスク1」を入れて下さい。

③プロンプトをフロッピードライブ1に合わせて下さい。

④キーボードから INSTALL と入力して下さい。

⑤インストールプログラムが立ち上がります。これ以後は画面の指示に従って下さい。

3. 起動ディスクへのシステム転送及び起動方法

本製品は、起動ディスクからゲームを立ち上げます。そのためには、起動ディスクにMS-DOSのシステムを転送する必要があります。

> コマンドラインからFORMAT.EXEを使ってシステムを転送すると起動ディスクの内容が破損してしまいますので、そのようなことは絶対に行わないで下さい。
> システムの転送は製品付属の転送プログラムが、MS-DOS付属のSYS.EXEを使って行ないます。

■システム転送方法

①本製品付属の起動ディスクをフロッピードライブ1に入れて下さい。

②ゲームをインストールしたハードディスクドライブ先にプロンプトを合わせて下さい。

③キーボードから CD HIO2DASH と入力して下さい。

④キーボードから HIO2SET [ドライブ番号] と入力して下さい。ドライブ番号は、起動ディスクを入れたドライブの番号です。

これで、起動ディスクの作成が完了します。

■ゲームの起動方法

システムを転送した起動ディスクをフロッピードライブ1に入れてリセットして下さい。
起動後、オープニングを見るかどうかの確認ウィンドウが最初に表示されます。

4. 緋王伝IIFD版からの追加・変更点

■操作方法関連

①ゲーム進行のON/OFF

ゲーム進行の一時停止／進行再開は、システムウィンドウの砂時計を左クリックする以外に、新たに次の方法が追加されました。

> マウスの右ボタンを2回素早くクリック（ダブルクリック）する

これにより、FD版の様にシステムウィンドウを常にオープンしている必要はなくなり、ウィンドウレイアウトが相当自由になります。ぜひ活用してみて下さい。

②装備変更

コンバットウィンドウ下部のキャラクターを左クリックすると表示される簡易情報ウィンドウ内でも、個別の装備変更が可能になりました。

③LOOKモード（透視アイコン）

コンバットウィンドウ内のクローズアイコン隣にある「透視アイコン」を左クリックすると、ゲーム進行が一時停止し、コンバットウィンドウ内の壁が全て透けて見える「LOOKモード」になります。
LOOKモードの最中ならば、壁の奥に隠れたキャラクターに呪文を唱えたり、壁に隠れたスイッチの確認などができます。

■システムルール関連

①ヒーリングの使用制限

FD版は、ヒーリングは戦闘中に手動で操作はできませんでしたが、HD版は操作することができます。これによって理不尽な死（呪文を使ってくれないなど）を防止できると思います。

②ディスペルの使用制限

FD版は、ディスペルの呪文は通常時、戦闘時を問わずに手動で使用することができましたが、HD版は戦闘時は手動での操作はできません。
敵の特殊攻撃にはきちんと対応策をとり、注意して下さい。

③ルーントラップの使用制限

FD版はルーントラップは壁を越えて使用することができませんでしたが、HD版はコンバットウィンドウ内に表示される範囲ならば、どこでも使用することができます。
これによって使い勝手が相当良くなりました。上手な使い方を考えて見て下さい。

④フロアのクリア方法

FD版はマルクフィーンドかミィルレイが階段までたどり着けばフロアクリアでしたが、HD版は誰が階段に入ってもクリアとなります。

5. 対応機種

NEC	PC-9801シリーズ（VX/UX以降）
	PC-9821シリーズ
EPSON	PC-286，386，486シリーズ

※　ハイレゾリューションモードには対応していません。ノーマルモードで御使用ください。

6. 対応ディスプレイ

本製品は640×400ドット表示可能なアナログディスプレイにのみ対応しております。
デジタルディスプレイには対応しておりません。
御使用のディスプレイが640×400ドット表示可能なアナログディスプレイであることを、各メーカーまたは店頭にて御確認下さい。

7. その他のハードウェア環境

本製品は、以下のハードウェア環境に対応しています。これらはゲームをより快適に楽しむためのものですので、必ずしも用意する必要はありません。

①サウンドボード（FM音源ボード）について

サウンド機能を標準実装している機種、またはサウンドボード（FM音源ボード）を拡張装備することにより、プレイ中にBGMを楽しむことができます。

NEC純正サウンドボード（PC-9801-26，PC-9801-26K）以外のボードで拡張してあるときの動作保証はいたしかねます。

②MIDIボードについて

「緋王伝II'HD」は、以下のローランド社製MIDI音源に対応しています。

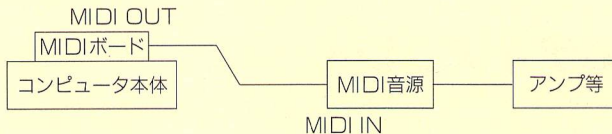
MT-32/CM32L/CM64

上記のMIDI音源を接続することにより、プレイ中に美しいBGMを楽しむことができます。

MIDI音源を使用するときは、SHIFTキーを押しながら起動して下さい。

MIDI機器の接続に必要なもの

1. PC-9800シリーズ用のMIDIボード
2. 本製品が対応しているMIDI音源
3. MIDIケーブル
4. 音声再生装置（アンプ等）

MIDI機器接続図

※　MIDIケーブルの長さが5メートル以上あると、信号が正常に伝わらないことがあります。また、MIDI音源から出力される音が止まらなくなったときは、いったん電源を切ってしばらくおいてから起動し直してください。なお、MIDIについて詳しく知りたい方は、市販の専門書などをお読みください。

③バスマウスについて

「緋王伝II」はバスマウスに対応しております。キーボードのみでも操作できますが、バスマウスを使用することで、より快適にゲームを楽しむことができます。

※　シリアルマウスには対応していません。

8. ディップスイッチなどの設定

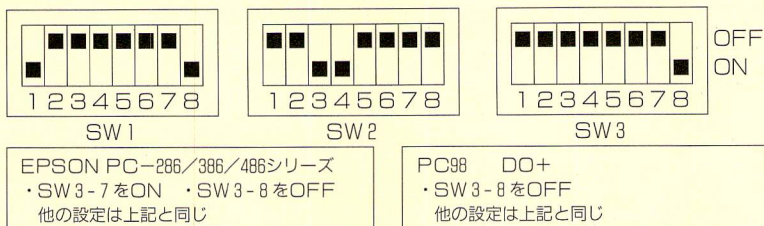
■ディップスイッチについて

コンピュータ本体下部に、動作環境を設定するスイッチがあります。
本製品に合わせた設定を行って下さい。

■ディップスイッチ設定一覧

1 2 3 4 5 6 7 8
SW3
OFF
ON

EPSON PC－286／386／486シリーズ
・SW3-7をON　・SW3-8をOFF
他の設定は上記と同じ

PC98　DO+
・SW3-8をOFF
他の設定は上記と同じ

※I・Oバンク方式でRAMを拡張している場合はRAMボードのマニュアルを参照してディップスイッチの設定を行ってください。

■クロック数について

PC-98DO+でオープニングを見る場合は、クロックを8MHzに合わせてください。

■サウンド機能について

PC286C（PC　CLUB）でEMS方式の拡張メモリを使用するときは、ソフトディップスイッチのSW3-5をONにしてサウンド機能を切り離してください。

9. ユーザーサポートについて
ゲームが動かないときは

プログラムが起動しなかったり、起動しても正常に動作しないときは、もう一度本マニュアルをお読みになり、各種設定をご確認ください。
また、以下の事項についても、もう一度お確かめください。

1. ディスクは正しくセットされていますか?
2. 周辺機器と本体の接続不良はありませんか?
3. お手持ちの機種とソフトが対応していますか?

以上の事項を確認しても正常動作しないときは、お買い求めのソフト・ショップにご相談ください。他の同機種のハードウェアで正常動作する場合、お手持ちのハードが故障している可能性が考えられます。以上の点をご確認のうえで、なお不良品と思われる場合は、お手数ですが「ユーザーサポートシート」に所定の事項をご記入の上、パッケージ一式を当社「緋王伝II'HD」ユーザーサポート係までお送りください。

※お客様の誤操作やハードウェアの障害による故障・不良であるときは、規定の手数料を申し受けます。

■ユーザーサポートあて先

〒170
東京都豊島区北大塚2-10-6 6セントラルビル
株式会社 日本テレネット/ウルフ・チーム
「緋王伝II'HD」ユーザーサポート係

サポート専用電話
03-5394-6601
月〜金　午前10時〜午後5時

10. おわりに　～読んだら得をするかもしれない二言三言～

緋王伝ⅡFD版が昨年11月末に発売されてから、約8か月の時を経てHD版の発売と相成りました。FD版の発売後当時、大量に送られてきたアンケートハガキを見るに評判は上々といった所で、まずは緋王伝Ⅱは成功かと喜んで…はいられませんでした。
驚くことに、HD対応への要望を述べたユーザーがハガキの約9割以上にも上ったからです。まさかこれほどまでハードディスクが普及しているなんて…。これは企画担当者自身の完全な認識不足でした。

これはこれで反省として、次回に生かされるだろうという事で話は終わるはずだったのですが、企画担当者が次の企画（パソコンラインではありませんが、詳しいことはナイショ）に入ってから数ヶ月たった頃に、ある企画が持ち上がったのです。正確には自分から持ちかけたのですが…。

もともとFD版発売の後、HD版を作ってはどうかという話は内輪で持ち上がったりしていたのですが、内容を変えずに発売してもFD版を購入したユーザーが怒るだけだろうという事で終わっていたのです。

しかし企画担当者が自らを殺す決意（脚色有り）をして、全フロアを変更したり、様々な改良を施すことで企画として成り立たせ、HD版は本格的なスタートを切ることになったのです。ユーザーの方一人一人の意見がHD版の発売を促したとも言えます。要望は述べてみるものですね。

HD版は基本的に前作、緋王伝ⅡFD版をプレイしたユーザーの方を対象にしています。だからといって、前作よりもゲームが難しくなっているということはありません。むしろ、エンディングまでいくのはFD版よりも簡単にしたつもりです。各フロアの隠された謎を100%解くのはHD版の方が難しいとは思いますが…。

「緋王伝（Ⅰ）」をプレイしたことのある方ならば、「緋王伝Ⅱ」になって謎解きの色が濃くなっていて驚いた方々もいると思います。それに違わずHD版はFD版とはまた違った方向性で各フロアをデザインしています。FD版をダン●ョンマ●ターとすれば、HD版はスーパー●トロ●ドといった感じでしょうか。その辺りは実際にプレイして確かめてみて下さい。

ユーザーからの要望で多かったものに、「緋王伝Ⅲ」の発売がありますが、現在の所は全くの未定です。評判が良かった企画ですから、いつかは開発することもあるとは予感できるのですが、それがパソコンなのかどうかも本当に予測がつきません。
もちろん企画担当者自身はⅢの企画を温めてはいます。もしもⅢを開発するとすれば、実に大規模で様々な改良が加えられるはずです。

例えば、現在の面クリア方式ではなくプレイヤーが面を選択できたり、キャラクターメイキングが可能になったり…もちろん肝心な部分は秘密です。まだ誰にも言ってませんしね。
この項を読んだ方、できればアンケートハガキにて、それらについての意見をお待ちします。またⅢに関する意見のみならず、開発者サイドではユーザーの反響を知るにはハガキに頼る部分が大きいものなのです。
あなたのハガキ1枚が何かを変えるかも知れません。HD版だって実現されたのですから。
意見、要望、酷評でも、お待ちしています。

緋王伝2'HD企画担当者より

ユーザーサポートシート

○故障原因究明のため、機種名・型番など、できるだけ詳しく記入してくださるようお願い致します。

（フリガナ）
■お客様氏名：

（フリガナ）
■お客様住所：

■お客様電話番号：

■コンピュータ機種名：

■ディスプレイ機種名：

■拡張メモリー：無／有（型番 ）

■プリンター：無／有（型番 ）

■マウス：無／有（型番 ）

■サウンドボード：無／有（型番 ）

■MIDIボード：無／有（型番 ）

■MIDI音源機器：無／有（型番 ）

■その他拡張ボードなど：

■問題点にいたるまでの操作および症状：

※この用紙はコピーしてお使いください。